

眼科カリキュラム

I 研修スケジュール

1 研修スケジュール

3ヶ月の研修期間は、指導医と共に外来診療に立ち合う。
また、手術などにも立ち合い。病棟患者の診療も行う。

2 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療
午後	病棟診察 手術	病棟診察 外来検査	病棟診察 手術	病棟診察 外来検査	病棟診察 外来検査

緊急患者、緊急手術、緊急検査は随時立ち合う。

II 研修目標

1 一般目標 (GIO: General Instructional Objectives)

(1) 眼科特有の救急医療を研修する

緊急を要する病気を持つ患者の初期治療に関する臨床能力を身に付けるというのが卒後研修目標の一つにあり、眼科特有の疾患に対する救急医療を研修する必要がある。これらの鑑別・初期治療を行えるようになるための研修を行う。

(2) 科疾患のプライマリケアを研修する

(3) 目が見えないということは日常生活の上で非常に不自由な状態であり、特に成人の中途失明は精神的失調、全身疾患の増悪につながることを理解する。失明への不安を抱いている患者・家族、又、失明者の不安感・絶望感など、患者の苦痛に対して理解を示し、温かい人間性で接すると共に、全人的医療態度を学ぶ。医療従事者にとって必要不可欠なことである。

(4) 眼科の重症疾患、頻度の高い疾患、全身疾患に関連する疾患の診療に必要な基本的知識を研修する。

急激な失明につながりうる網膜・硝子体疾患、緊急性は低いものの頻度の高い緑

内障・白内障、全身疾患に伴う眼疾患を理解することは初期研修に必須である。眼科専門医に紹介・転送を要する疾患や糖尿病など他科との連携が重要な疾患に関する基本的知識を研修する。

2 行動目標 (SBO: Specific Behavior Objectives)

A 当科研修において特に経験すべき診察法・検査・手技

(1) 基本的眼科科診療能力

1) 眼科診察法

- ① 眼位・眼球運動・眼振の有無・瞳孔・対光反射
- ② 細隙灯による観察
- ③ 倒像鏡による眼底観察
- ④ 眼圧測定

(2) 基本的眼科臨床検査

眼科診療に必要な種々の検査を実施あるいは依頼し、結果を評価して患者・家族に分かりやすく説明できること。又、それぞれの病態で禁忌である検査法、避けたほうが望ましい検査法があることを理解する。

1) 眼科一般臨床検査

- ① 自動屈折度
- ② 眼底撮影
- ③ 動的視野検査・静的視野検査

2) 蛍光眼底造影検査

- ① フルセリン蛍光眼底造影

3) 超音波検査

- ① Aモードによる眼軸長測定
- ② Bモードによる網膜、硝子体の観察

4) 放射線学的検査

- ① 頭部単純X線検査
- ② 頭部・眼窩X線CT検査
- ③ 頭部・眼窩MRI検査

(3) 基本的治療法 当科研修で修得すべきものを中心に

薬物の作用・副作用・相互作用について理解し、薬物治療ができる。特に年齢・病態にあわせた投薬の問題や治療上の制限について学ぶ。薬剤の添付文書の記載を理解し、副作用に常に留意する。又、相互作用・病態による投薬の制限・禁忌などを学ぶ。又、以上のことを患者・家族に分かりやすく説明できる。

1) 処方箋の発行

- ① 薬剤の選択と薬用量
- ② 投与上の安全性

2) 注射の施行

- ① 結膜下・球後注射など眼科特有の注射
- 3) 副作用の評価および対応
 - ① 使用頻度の高い副腎皮質ステロイド剤の副作用の知識の修得

B 経験すべき症状・病態・疾患

研修の最大の目的は、患者の症状と身体検査より必要な検査を施行し、その結果などに基づく鑑別診断、初期治療を的確に行う能力を獲得することにある。

(1) 頻度の高い症状

- ① 視力障害
- ② 視野異常
- ③ 結膜の充血

いずれも眼科では極めて頻度が高く、角膜・結膜・水晶体・硝子体・網膜・視神経・中枢神経系のいずれの疾患からでも起こりうる。的確な診断、そのために必要な検査の計画を立てることを学ぶ。

(2) 緊急を要する症状・病態

救急疾患が比較的少ない眼科疾患の中でも、外傷は緊急性が高く、中でも化学外傷は緊急処置が視力予後を左右することが多い。緊急を要する疾患を持つ患者の初期治療に関する臨床能力を身に付けることは、もっとも大きな卒業研修の目標の一つである。

(3) 経験が求められる疾患・病態

- ① 屈折異常（近視・遠視・乱視など）
- ② 角結膜炎
- ③ 白内障
- ④ 緑内障
- ⑤ 高血圧・動脈硬化・糖尿病などによる眼底変化
- ⑥ ぶどう膜炎

C 眼科研修項目（SB0のBの項目）の経験優先順位

(1) 経験優先順位第一位（最優先）項目

- ① 緑内障
- ② 糖尿病による変化
- ③ その他の眼底疾患

(2) 経験優先順位第二位項目

- ① 白内障

(3) 経験優先順位第三位項目

- ① 屈折異常
- ② 角結膜炎
- ③ 結膜充血の鑑別